

1. 第1回旭川水辺再生戦略会議の概要

(1) 開催日時：平成27年5月28日（木曜日）15時45分から17時15分まで

(2) 内容：石山公園など現地視察の後、会議において意見交換

(3) 委員からの主な意見：

- ・岡山の顔ともいえる重要な場所である。
- ・石山公園は歴史的地区と現代的空間の接した非常に重要な場所。
- ・市民にとって大事な場所。岡山を出た方が、岡山を思い出すのはこの場所。
- ・回遊性の向上のためには「魅力づくり」が重要。
ポテンシャルは大きいですが、親水空間というところまでにはなっていない。
- ・魅力を増すためには、眺めるだけの場所ではなくて、体験して楽しめる場所になること。
- ・産官学が一体となった取り組みを進めていくことが必要。
これに、NPO法人であるとか、西川緑道公園で賑わいづくりを行っているような人たちが参画してほしい。
- ・岡山後楽園と岡山城の統一的な景観の演出やアクセスの向上など一体となった取り組みが必要。
- ・岡山後楽園の園内だけでなく、園のまわりの園路の整備も必要。
- ・賑わいの創出ができれば、ビジネスチャンスも生まれてくる。



2. 今後について

(1) 利用者へのアンケートや学識者へのヒアリング

(2) ミズベリング岡山会議の開催 平成27年10月31日（土曜日）（予定）

※ミズベリングとは

・「水辺+RING（輪）」「水辺+R（リノベーション）+ING（進行形）」の造語で、かつての賑わいを失ってしまった日本の水辺の新しい活用の可能性を創造していくプロジェクト。

・市民、経済界、行政など様々な主体の参加を促し、参加者それぞれが水辺の利活用について自由なアイデアを創出する意見交換の場となることを目的として講演会、ワークショップや水辺の遊び体験などを開催。

(3) 第2回会議の開催 平成27年12月頃（予定）